

補助事業番号 22-19

補助事業名 平成22年度機械工業の事業環境整備に資する基礎調査等補助事業

補助事業者名 社団法人 日本機械工業連合会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

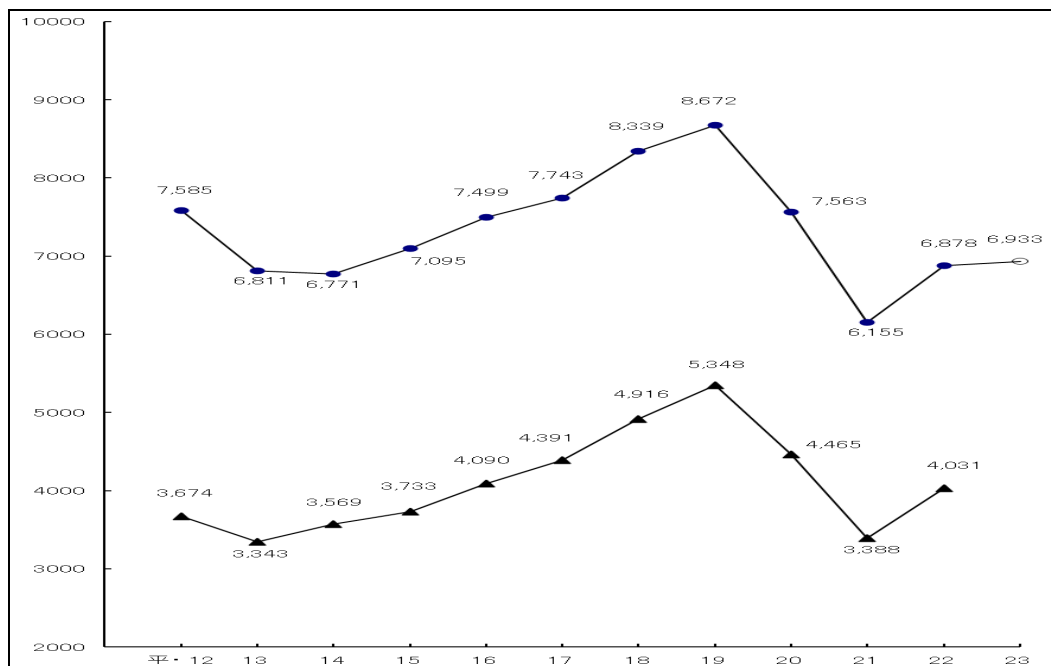
機械工業における事業環境整備を促進するため、国際標準化への対応調査、関連情報の収集・広報等を実施し、もって機械工業の発展に寄与する。

(2) 実施内容

ア. 機械工業の生産見通し等調査

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/22_jigyou.html#1

機械関係団体を対象に年2回（当初見通しと改訂見通し）、生産額（実績と見通し）、輸出額（実績）を調査した。



(注) 単位は百億円。()内は前年度比(%)、(△はマイナス)

イ. 機械工業関係情報収集及び国内広報

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/22_jigyou.html#2

当会及び関係諸団体や官公庁等でまとめた機械工業にかかわる報告書、各種見通し調査結果、統計、政策資料等を収集、分類、整備を進めると共に、ホームページで広く紹介した。また、ロボット産業・技術の振興に関する広報事業を関係機関に委託して行った。



（「第4回ロボット大賞 展示会場 入り口」）



（受賞ロボット）



（受賞ロボット）



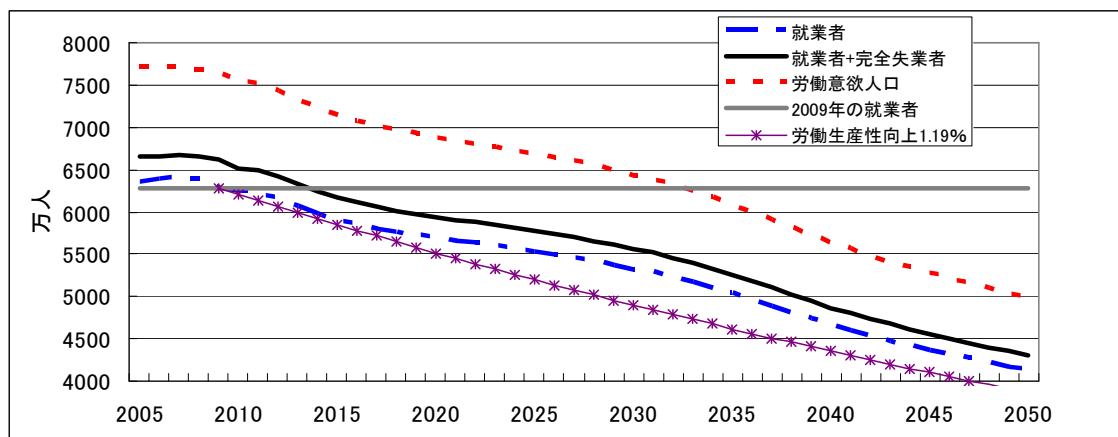
（受賞ロボット）

ウ. 機械工業の展望と課題に関する調査

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/22_jigyuu.html#3

人口減少社会における機械工業の国内展開について調査した。

図表：我が国の労働力人口の過不足の予測




またアジア諸国の現地有力サプライヤー発掘など資材調達情報調査を行い、東インド地域（ウエストベンガル州、ジャルカンド州）のサプライヤー60社の企業便覧を作成した。


2-6 SAMARTH ENGINEERING CO PVT LTD ☆

所在地	Adityapur Kandra Road, Jamshedpur-832109, Jharkhand		
T e l	+91-657-6622600	FAX	+91-0657-2229002
ホームページ	www.samrath.biz	E-mail	samrath@tatanagar.com
総資本金	Rs 2,466 万	固定資産	Rs 6,052 万
設立	1976	設立形態	Private company
代表取締役社長	Kiloi Kamani		
従業員数	200		
売上	Rs 11 億 2 千万 (2009-10)		
工場敷地	5,665 m ²	床面積	5,060 m ²
主要製品	自動車部品など		
主要技術	板金・プレス加工		
外資導入技術	No		
輸出入権	No	認証取得	ISO/TS-16949:2009
主要顧客	Tata Motors Ltd, H.V. Axle Ltd, York Transport Equipment (India) Pvt Ltd, RSB Global, Wabco TVS India Ltd, Coparo Engg India Pvt Ltd, Auto Profiles Ltd		


工場外観




工場内



取扱製品



取扱製品

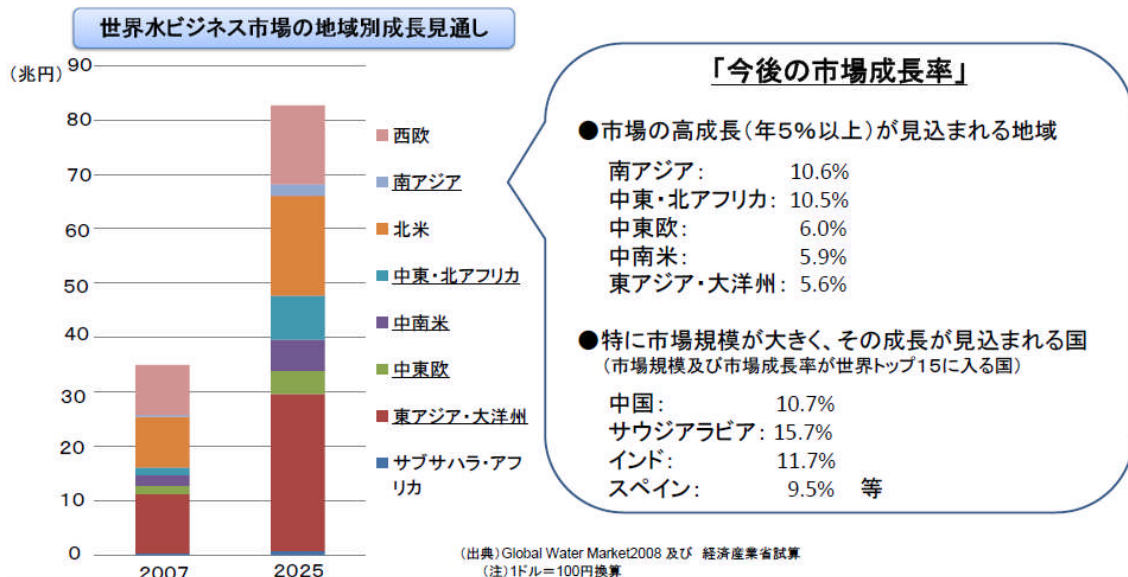


また、我が国機械工業の事業環境整備等に資する調査を2課題、委託して行った。

エ. 地域機械産業の事業活動推進に関する調査

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/22_jigyuu.html#4

近畿地域機械産業が環境や安全・安心に配慮し、素材開発、製品の高機能化等への対応、高付加価値製品の開発に向けて生き残りをかけて取り組みを行っている企業間連携等の実態（成功事例、障害事例）を調査し、その効果や課題を検証した。



オ. 機械工業の標準化推進

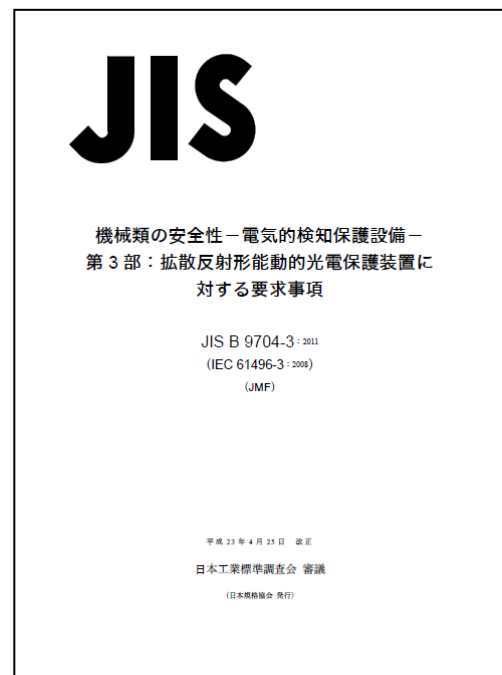
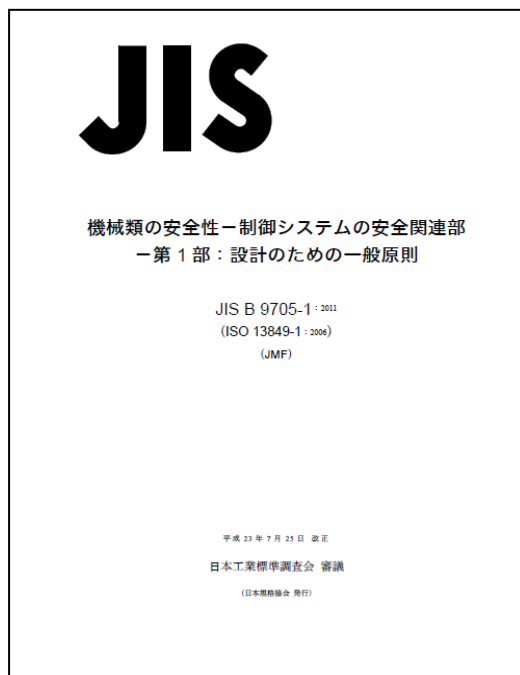
http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/22_jigyuu.html#5

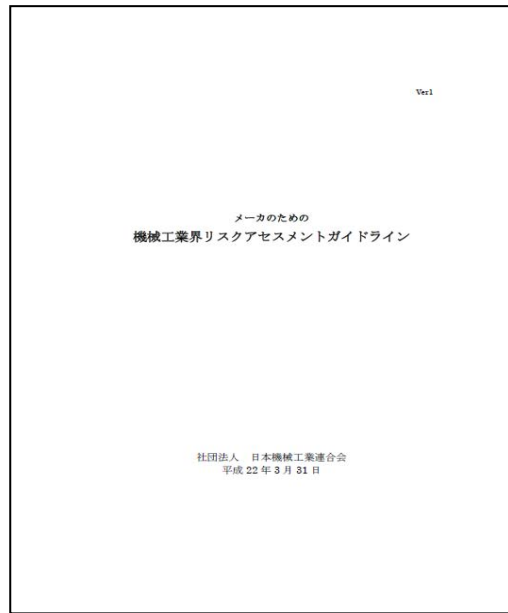
機械類の安全性分野の国際標準の開発と JIS 原案の作成などを目的として、ISO/TC199 及び IEC/TC44 関連国際規格の開発、関連分野の JIS 原案の作成を実施した。その他、ISO11161に対応したTRの作成を実施するとともに、「メーカーのための機械工業界リスクアセスメントガイドライン」の作成を行い、完成した。

また、我が国の機械工業の国際標準化対策等を行うため、2機種・団体に委託調査事業を行った。

機械類の安全性分野の国際標準の開発と JIS 原案の作成などを目的として、ISO/TC199 及び IEC/TC44 関連国際規格の開発、関連分野の JIS 原案の作成を実施した。その他、ISO11161に対応したTRの作成を実施するとともに、「メーカーのための機械工業界リスクアセスメントガイドライン」の作成を行い、完成した。

また、我が国の機械工業の国際標準化対策等を行うため、2機種・団体に委託調査事業を行った。





メーカーのための機械工業界
リスクアセスメントガイドライン

2. 予想される事業実施効果

ア. 機械工業の生産見通し等調査

機械工業の発展を図るため、景気動向を迅速かつ的確に把握する必要があり、機械工業の生産額見通しを作成する本調査は各方面から重要視されており、今後とも更に調査内容の充実が期待されている。

イ. 機械工業関係情報収集及び国内広報

情報資料の集積が進むにつれて関係各方面の調査、研究等に役立つ他、機種別の広報事業を行ったことにより、今後のロボット産業技術等の開発意欲の向上等に大きく役立つことが期待される。

ウ. 機械工業の展望と課題に関する調査

人口減少社会における機械工業の国内展開に関する調査研究では、知財・技術立国の方向性についてまとめたことにより、機械工業企業の成長戦略構築に役立つことが期待できる。

海外生産等の国際事業展開が加速しており、特にインドでの生産活動が増加する中、現地における競争力の大きな要因とされる効率的な資材調達の実現に役立つことが期待される。

国際社会の中で、我が国では事業環境の対応が遅れている業種についても、各国の市場動向調査の情報を提供できた。また、今後、我が国の機械産業が対外輸出等で不利益を被らない輸出貿易管理制度の提案等の作成や整備に、大きく寄与することが期待される。

エ. 地域機械産業の事業活動推進に関する調査

近畿地域機械産業等における環境、安心・安全分野での企業間連携等に向けた取り組みの活性化とともに企業間取引における意識の向上、社内制度の改革が促進されることが予測される。

オ. 機械工業の標準化推進

本事業における成果は、機械類の安全性確保のために、広く横断的に使用可能な内容を含む国際規格と JIS 原案を収めてあり、シュレッダ、回転扉事故など社会問題として取り上げられる事故防止対策に活用することができるとともに、各個別分野の安全規格作成のための必須事項としても活用されることが大いに期待される。また、国際的な動向を知る上でも活用されることが予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

http://www.jmf.or.jp/japanese/houkokusho/list/list_22.html

ア. 機械工業の動向、生産見通し等調査

- ・平成 22 年度機械工業生産額見通し等調査
- ・平成 22 年度機械工業生産額（改訂）見通し等調査

イ. 機械工業関係情報収集及び国内広報

- ・第 4 回ロボット大賞 受賞ロボット紹介

ウ. 機械工業の展望と課題に関する調査

- ・機械工業の展望と課題に関する調査

平成 22 年度人口減少社会における機械工業の国内展開に関する調査研究報告書

- ・インド有力サプライヤー企業便覧－東インド編－（CD-ROM）
- ・世界金融危機後のものづくりの現状と展望に関する調査研究報告書
- ・環境・省エネ・新エネの世界戦略に関する調査研究報告書

エ. 地域機械産業の事業活動推進に関する調査

- ・平成 22 年度「地域産業状況に関する調査」報告書
（中国等での環境ビジネスの今後の展開と近畿地域機械産業が担う役割調査）

オ. 機械工業の標準化推進

- ・ISO/TC199 部会成果報告書
- ・IEC/TC44 部会成果報告書

- ・設備の安全性確保におけるシステムインテグレータの役割に関する調査研究報告書
- ・中国市場における機械安全推進体制に関する調査報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社団法人 日本機械工業連合会（ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ）

住所： 105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館5階

代表者：会長 伊藤源嗣（イトウモトツグ）

担当部署：総務部（ソウムブ）

業務部（ギョウムブ）

企画部（キカクブ）

標準化推進部（ヒョウジュンカスイシンブ）

大阪事務所（オオサカジムショ）

担当者名：総務部

井島常堯（イジマツネタカ）

業務部担当部長

倉田正明（クラタマサアキ）

業務部次長

多並輝行（タナミテルユキ）

業務部課長

高橋保弘（タカハシヤスヒロ）

業務部

戸田 讓（トダユズル）

企画部長

石井淳二（イシイジュンジ）

企画部部長

倉持安孝（クラモチヤスタカ）

企画部課長

堀内誠太郎（ホリウチセイタロウ）

標準化推進部長

川池襄（カワイケノボル）

標準化推進部部長代理

宮崎浩一（ミヤザキヒロカズ）

大阪事務所長・常務理事

赤井誠次（アカイセイジ）

電話番号：03-3434-5381（総務部）

03-3434-5382, 5383（業務部）

03-3434-5284（企画部）

03-3434-9436（標準化推進部）

06-6345-6327（大阪事務所）

FAX： 03-3434-6698

E-mail：koho@jmf.or.jp（総務部 情報管理担当）

gyomu@jmf.or.jp（業務部）

kikaku@jmf.or.jp（業務部）

shinkojigyo@jmf.or.jp（企画部）

hyojun@jmf.or.jp（標準化推進部）

jmfosaka@r2.dion.ne.jp（大阪事務所）

※事業環境（JKA用）

URL : <http://www.jmf.or.jp>